

(仮称) 国際センター駅北地区複合施設について

(音楽ホール・中心部震災メモリアル拠点)

令和7年8月25日(月)

仙台市
文化観光局青葉山エリア複合施設整備室
まちづくり政策局防災環境都市推進室

(仮称) 国際センター駅北地区複合施設とは

音楽ホール

→ 仙台の文化芸術の総合拠点

+

- ・2,000席規模の大ホール
- ・約350席の小ホール
- ・練習・創造・発表のための諸室

中心部震災メモリアル拠点

→ 災害文化の創造拠点

災害文化
とは

災害は発生するものである という認識に基づく考え方や行動のあり方、
伝承の取組み、防災・減災の具体策など、災害を乗り越えるための知恵や
術を持った社会文化のこと

👉 簡単にいうと、『毎日の生活に災害への意識や備えが組み込まれていること』

施設を建てる場所

面積：約 18,700 m²

地下鉄東西線 国際センター駅の北側（現在の「せんだい青葉山交流広場」）

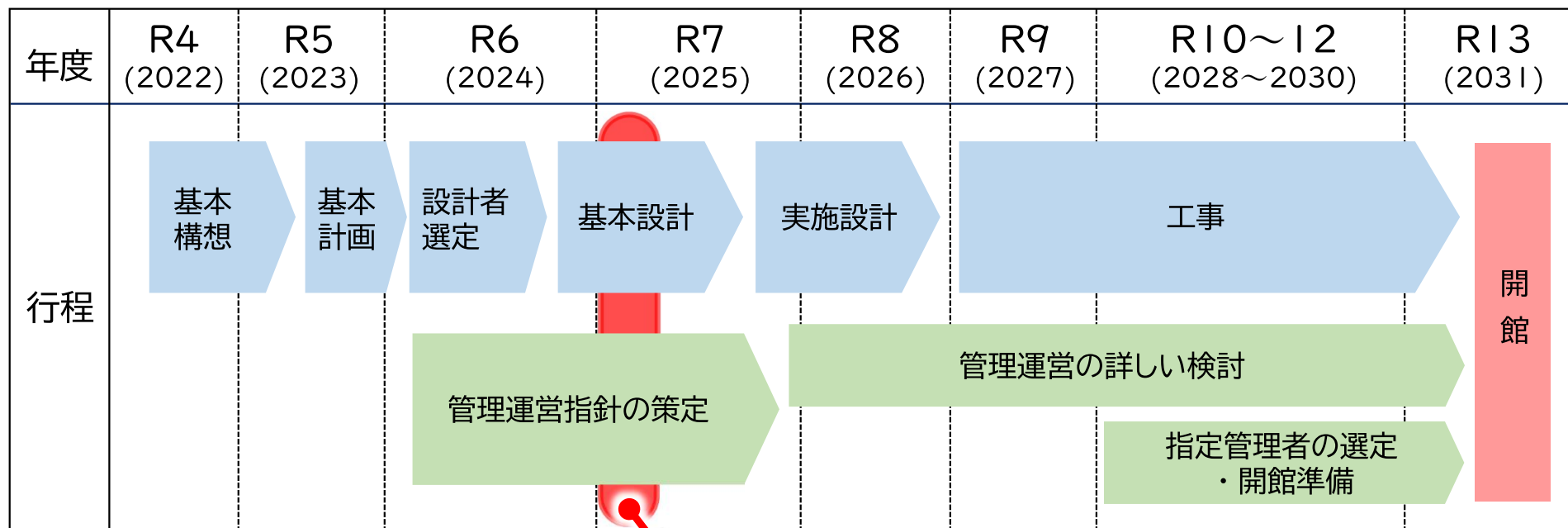


広瀬川の清流を守る条例



整備のスケジュール

この施設は、令和 13（2031）年度の開館を目指して、
設計や工事を進めていきます。



現在はこちら

施設の基本理念

この施設の一番基本となる考え方は、次のとおりです。

人・文化・まちを育む創造の広場

～ 文化芸術と災害文化がつなぐ

人と人、過去と未来、仙台と世界 ～

こんなことができる施設になります

■ 文化芸術の鑑賞や活動をする

音楽、オペラ、ミュージカル、演劇、バレエ、ダンスなどの優れた作品を鑑賞したり、自分たちで練習・発表したりできる場となります。



■ 災害を乗り越える暮らし方を 知る・考える

災害と人の歴史や 日頃の備え方 乗り越え方を展示や映像、いろいろな催しを通じて知ったり、みんなで考えたりする場となります。



この施設の特徴

■ ロビーや広場で自由に過ごす

目的がなくても、気軽にやって来て、

くつろいだり、無料のイベントを楽しんだりできます。

■ 特別な時間を共有する

3.11など 特別な日には、いろいろな立場の人が 同じ時を過ごす イベントの場になります。

この施設の構成

生の音の響きに優れる
2,000席規模の大ホール、
約350席の小ホール

リハーサル室、練習室、
ワークショップスタジオ、
こどものための空間など

展示スペース、
アーカイブライブラリー、
市民研究活動スペースなど

①

ホールの
の
エリア

②

文化芸術
の
エリア

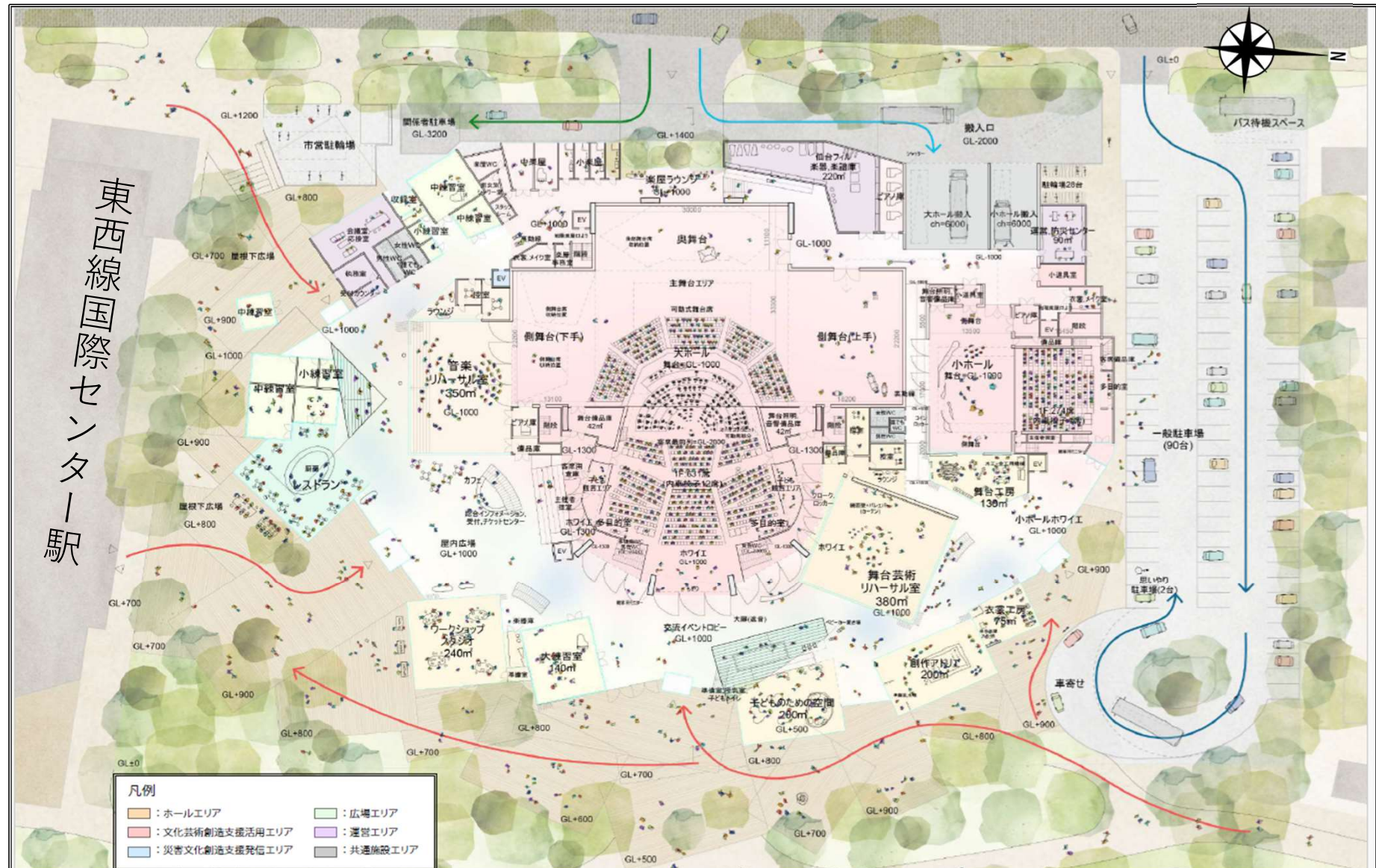
③

災害文化
の
エリア

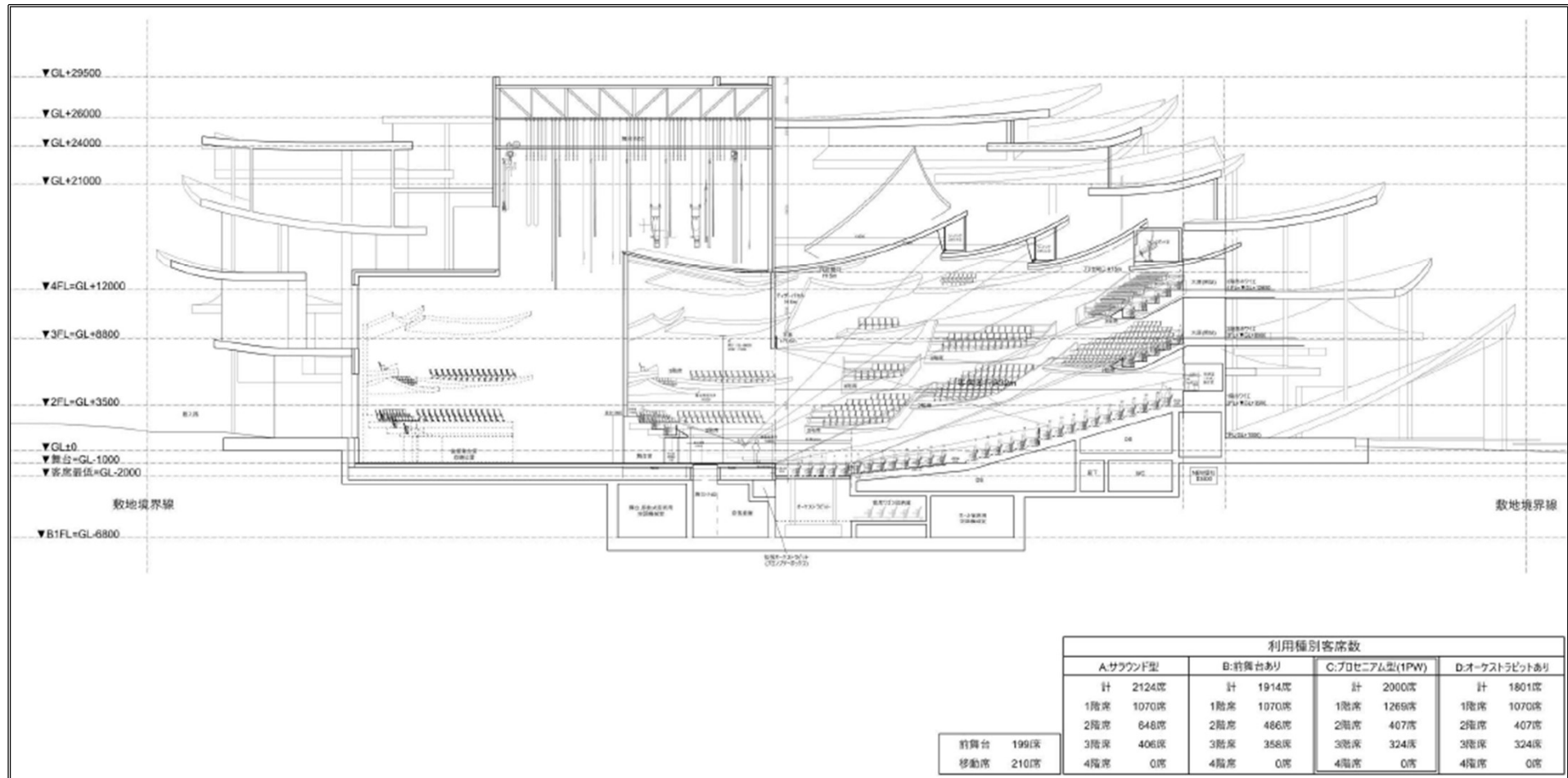
④ 広場のエリア

交流ロビー、レストラン、クワイエットスペース、屋外広場など

令和6年12月現在



令和6年12月現在



現在の状況説明



音楽ホールの事業

音楽ホールは、4つの事業をとおして

仙台の文化芸術を発展させる拠点を目指します。

作品を
創造・発信する

まちに
賑わいを生む

文化芸術を
社会にいかす

人材を育てる

中心部震災メモリアル拠点の事業

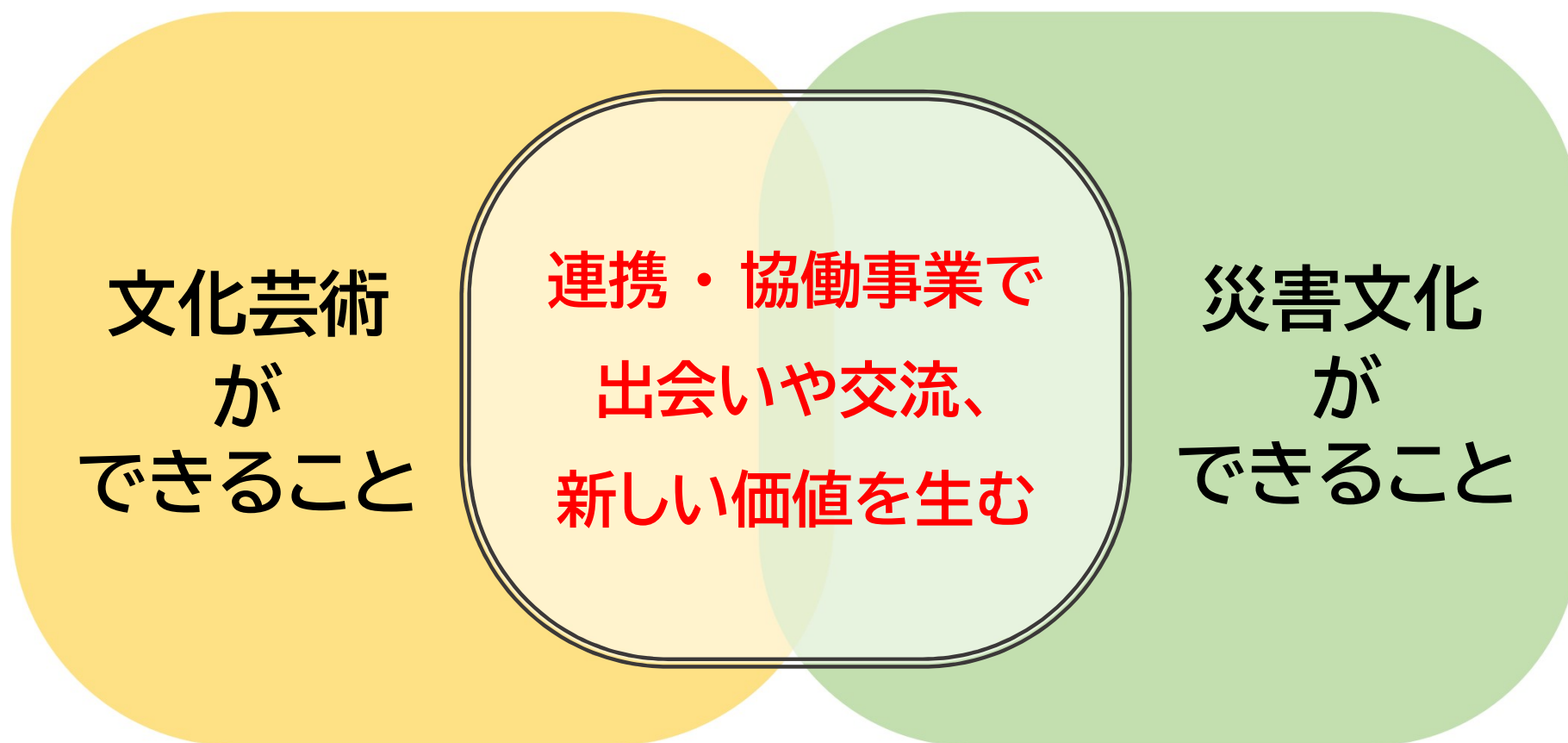
中心部震災メモリアル拠点は、4つの事業をとおして
災害に強い人や地域づくりを目指します。

災害を知る

災害文化を創る

**災害文化を
定着させる**

**災害文化を
広める**



文化芸術と災害文化が連携する あたらしい文化施設が
暮らしやまちを さらに豊かにしていきます